



見よ!
3年女子の底力!!

(女子学年対抗綱引き)

一学期最大の行事となる体育祭が六月十九日と二十日の二日間に行われて開催された。興讓館生はクラスマッチ形式で行われる本行事を通して、仲間と勝利の喜びを笑顔で分かち合い、敗北の悔しさを涙で共有する。そして、クラスの団結力を高め、興讓館高校の気温が上昇する二日間である。

競技種目

- 男子バレーボール
- 女子バレーボール
- 男子サッカー
- 女子サッカー
- 20人21脚
- 長縄跳び
- 男子学年対抗騎馬戦
- 女子学年対抗綱引き

興讓館だより
Yonezawa Kojokan High School

これが興讓館生の躍動!!
熱気に満ちた体育祭

今年も体育祭が終わった。カンカン照りの太陽の下、がむしゃらに走った。蒸すような暑さの体育館の中で、夢中になってボールを追いかけた。私達のクラスは正直に言ってしまうと普段はあまりがあるとは言い難い。しかし、今回だけは最後の体育祭ということもあり、みんな目の色を変えて毎日の練習に励んだ。共に汗を流し、仲間と声援を送る中で、クラスがつになつていくのを感じた。また、担任の大介先生が様々な面で私達を支え、時には一緒に練習してくれたことが、私達にとって大きな力となった。大介先生のためにと、五組の初めでの結束が総合優勝につながったのかもしれない。

体育祭総合優勝!

三年 渡部 沙織(赤湯中出身)



白熱する2年vs3年(男子学年対抗騎馬戦)

平成19年7月31日発行
第9号
山形県立
米沢興讓館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>



我が勝利に狂喜(男子バレーボール)

体育館を疾走(20人21脚)



宿泊研修の一幕で見た笑顔



体育館を震わす応援練習

新入生にとつての興讓館高校の1学期は本当に忙しい。入学式から自治会・応援団入会式、宿泊研修、応援練習、登山とひっきりなしにイベントがある。しかし、そのような行事を体験することとて、新入生の顔から興讓館生の顔へと変わっていく。

新入生から興讓館生へ

～ 新入生、充実の1学期～



つらい登山も仲間と一緒にだと楽しそう



興讓館に入学して

二年 片平 正隆
(米沢三中出身)

私が興讓館高校に入学して、もう、三ヶ月が過ぎました。宿泊研修、応援練習、体育祭などの行事を経て、やっと興讓館生としての自覚がわいてきたように感じます。学習面で驚いたことは、課題・予習の多さです。初めは辛く感じていましたが、この日々の積み重ねこそ自分の力になると確信しています。

部活動では、先生と先輩方のおかげで、中学の時には経験できなかった県大会に行くことができました。大きな収穫でした。優しく頼りがいのある先輩方と、楽しく、そして、厳しく毎日活動しています。

興讓館高校は、勉強にしても諸活動にしても大変なところが多いです。しかし、それを頑張れば頑張るほど、充実した生活が送れます。これからも文武両道を目指し、精一杯頑張っていくつもりです。



公開授業の様子

本校では、授業に関わる取り組みを様々な行っています。教員同士がお互いの授業を見せ合うことで「授業力」の向上を図る「授業研究仲間」や、生徒の声を傾け、その声を授業にフィードバックさせようとする試み「生徒による授業評価」などです。そしてさらに、「開かれた学校」に向けた取り組みとして「公開授業」も行っています。今後も本校ではこのような取り組みを通して、よりよい授業を実践し、開かれた学校を目指していきたいと考えています。

開かれた
学校を
目指して
公開授業

勉強だけじゃものたりない! 興讓館生は部活動でも燃える! Club Activities

【地区春季高校総体】

- 団体第1位・・・バスケットボール部(女) *初優勝
剣道部(男) *6年ぶり
野球部(春季地区大会) *22年ぶり
フェンシング(男)・山岳(*最優秀賞)
- 団体第2位・・・柔道部(男)・柔道部(女)・ホッケー部(男)
ソフトテニス(女)・フェンシング(女)
- 団体第3位・・・バレーボール・サッカー*5年ぶり県大会出場
卓球(女)・剣道(女)・ソフトテニス(男)
バドミントン(男・女)・ホッケー(女)
- 個人第1位・・・陸上男子走り幅跳び・柔道(男)-81kg/+100kg
柔道(女)-57kg/-63kg
フェンシング(フルール(男女)/エペ(男女)/サーブル(男女))
- 個人第2位・・・陸上女子400m・陸上女子400m・ソフトテニス(男)
柔道(男)-73kg/-81kg・弓道(男)
柔道(女)-52kg・バドミントン(男子ダブルス)
フェンシング(フルール(男女)/エペ(女)/サーブル(女))
- 個人第3位・・・陸上男子400m・陸上男子4×400mリレー
陸上女子200m・陸上女子走り高跳び
柔道(男)-81kg・柔道(女)-57kg/-63kg
剣道(男)・バドミントン(女子ダブルス)
フェンシング(フルール(男女)/エペ(男女))

【山形県高校総体】

- 団体第1位・・・フェンシング(男女) *9年ぶりアベック優勝
団体第2位・・・ホッケー(男) *東北大会出場
団体第3位・・・ホッケー(女)
- 個人第1位・・・フェンシング(フルール(男女)/エペ(女))
個人第2位・・・フェンシング(フルール(女)/エペ(男女)/サーブル(男女))
個人第3位・・・フェンシング(フルール(男女)/エペ(女)/サーブル(女))
- 東北大会出場・・・陸上女子400m(第6位で)・弓道女子個人(第4位で)
- インターハイ出場・・・フェンシング(男女団体/男女個人)
- 全国高校総合文化祭・・・新聞・文芸部門・美術部門
- 吹奏楽研究クラブ
全日本吹奏楽コンクール山形県大会・・・金賞(第4位)

インターハイ出場に向けて

フェンシング部 三年 遠藤 香菜
(川西二中出身)

私達フェンシング部は、六月に行われた県大会で九年ぶりの団体アベック優勝を果たすことができました。インターハイ出場の切符を手に入れるまでには、幾多の試練がありました。しかし、その度に互いに切磋琢磨し、それぞれの試練を乗り越えてきました。その陰には優しくそして厳しくご指導くださった顧問の先生方や暖かく支えてくれた家族の力があつたことを私達は決して忘れません。佐賀県で行われるインターハイでは、お世話になった方々への感謝の気持ちを込め、持てる力の全てを出し切って全力で戦ってきたいと思えます。



部活動を 振り返って

女子バスケットボール部 三年 齋藤 愛
(高島中出身)

女子バスケット部は部員十八人で、地区優勝・県ベスト八を目指して練習してきました。体育館割り当てるにはコート半分の時間も限られていたため、他校に比べると圧倒的に不利でした。しかし、その状況でも集中して取り組みました。

問題が発生して、チーム崩壊の危機に直面した時もありましたが、本音で語り合い、互いの想いを伝えることで少しずつチームが良くなっていきました。地区優勝・県ベスト十六という結果を残せたのもこのことがあったからだと思います。個々の能力があつてもチームの団結がなければ勝てないことを改めて実感しました。

今まで支えてくださった先生方、保護者会の皆様に感謝しています。ありがとうございました。



特色ある興讓館高校の教育実践

本校における教育の特色といえは、まず、理数科が設置されているということから。理数科は昭和四十三年に設置されてからずっと「科学する心」を育ててきました。そして、その教育は今なお引き継がれています。

また、理数科だけではなく、高大連携の一環として実施している「興讓館大学講座」は今年で四回目を数えます。これは各大学から先生方をお招きして講義をしていただき、本校生が大学の講義を体験的に学ぶというものです。さらに今年度からは、高大融合を図るため「山形大学工学部」と協定を結び、教育交流を進めることも決定しました。これによって、本校生は大学が開講している講義に参加できるなど、本校と大学との結びつきがより深められていきます。普段の学業指導や諸活動指導ももちろんですが、このような特色をだしていくことで、「興讓」の精神による全人教育の実践を目指していきたいと考えます。



理数科サミット 他校理数科生徒との交流

理数科サミットに参加して

二年 遠藤 諭
(南原中出身)

県の理数科サミットが山形南高校で開催された。今回は県内の一学年理数科全員が参加し、交流情報交換するという大々的なものだった。山形大学の教授陣や鶴岡南高校OB(第一期生)より参加いただき、講話をいただいた。講話の他にも、講師の方々と囲んでのグループディスカッションが行われ、積極的に



質疑応答がなされた。将来の進路や理数科についての見解について、皆で積極的に建設的な話し合いができたことは大きな収穫だった。午後はグループに分かれて施設見学を行った。自分の興味のある現場を選択によって見学できたことは効率が良く、非常に有意義なものとなった。

理数科サミットでは持ちかえることができないくらい、この事を学んだ。これからの経験を活かすかどうかは今後の自分達次第だと思つて、理数科の誇りを持って全力で頑張っていきたい。

興讓館大学講座



山形大学工学部の講義を受講



興讓館大学講座を受講して

二年 清田祐太郎
(米沢中出身)

僕の中で、大学で学ぶ学問というものはとても大きなテーマで漠然としたものでした。しかし、各大学の教授の話や、大学の授業の話を伺い、大学ではどんな授業をしているのか、具体的なわかり、より現実に大学を考えられるようになり、これからの学習に対するモチベーションも高めることがで



きて本当に良い機会だったと思つています。僕たちは一年後に大学受験をひかえているわけですが、今回の大学講座を自分の糧として、自分が一番興味を持つことができるとは何なのか、将来本当にしたいことは何なのかを真剣に考えながら、一度しかない人生の通過点である大学を選んでいき、自分をより高められるよう学習面でもさらに興讓の精神で向上できるように努めていきたいと思つています。

二学期の行事予定

- 8月23日 始業式
- 9月1日 文化祭(～9月1日)
- 9月8日 秋季地区高校総体(～9日)
- 9月19日 創立記念式典
- 9月24日 同窓生と語る会
- 9月27日 オープンスクール
- 9月27日 マラソン大会
- 10月6日 県新人大会前期(～7日)
- 10月12日 県高総文祭置賜会場(～14日)
- 10月17日 中間考査(～19日)
- 11月3日 県新人大会後期(～4日)
- 11月14日 2年大学・施設見学会(～16日)
- 11月29日 1・2年期末考査(～12月4日)
- 12月30日 3年学年末考査(～12月4日)
- 12月27日 特別時間割(～27日)
- 12月27日 終業式